

教科の学習

中学校では、小学校6年間で学習してきたことを基に、一人ひとりが自立した健康な社会人として生活できる力を養うために必要となる基礎的なことを学びます。

中学校での学習のめあて

基礎的・基本的な知識及び技能を習得し、これらを活用して課題を解決するために必要な能力を身に付けるとともに、主体的に学習に取り組めるようになること。

中学校で大切なのが教科の学習

学習のめあてを達成するために、3年間を通じて9つの教科を学習します。各教科で授業をしなければならない時間は決められています。

各教科に共通すること

1 学習のめあて

教科の学習を通して

- 表現力・創造力・運動技能や豊かな感性を身に付ける
- 社会人として生きていくために基礎的な知識を身に付ける
- 高校・大学などで専門的な知識を身に付けるための基礎学力を付ける

2 アドバイス

- 一番大切なことは授業を真剣に受けることです。
- 学習に楽な学習はありません。苦勞して覚えるからこそ身に付くのです。
- まとめて勉強しても成果は出ません。少しずつ毎日継続した学習が大切です。
- 教科の学習の一言アドバイスをよく読みましょう。

3 学習の内容

年度当初、教科の学習内容（教育課程）を決めて1年間の指導計画を立て、それに基づいて授業をします。学習内容は学習指導要領（文科省が示した学年別・教科別の学習すべき内容）に従い、これまでの生徒の実態をふまえて決められます。具体的な学習は、その時々々の生徒の実態や発達段階に応じて見直すなど柔軟に進めています。計画の立て方や学年ごとの学習内容の決め方は各教科の特性によって異なります。